

官民連携の手法による新たなまちづくり交流拠点が誕生 「南城佐敷・玉城 IC 周辺地区整備事業」 基本協定締結

■事業の背景

市では、市都市計画マスタープランに定めた将来都市構造で、市庁舎周辺を「先導的都市拠点」と位置づけ、市に不足する機能の集約、賑わいあふれる持続可能なまちづくりをすすめています。賑わいあふれる持続可能な施設として整備する「まちづくり交流拠点」では、施設の利用者や地域の付加価値の創出に力点を置いた事業展開を見据え、構想段階から市と民間事業者が連携して事業展開する「事業パートナー方式」での整備を予定しています。

本事業では、2024年2月16日（金）に実施された公募型プロポーザルで優先交渉権者を選定し、2024年5月15日（水）に基本協定を締結しました。

■運営を重視した官民連携事業

公共施設の本来の役割が発揮されるのは、整備段階よりも、整備されたあとの「運営段階」であることを重視し、事業の構想から市と社会ニーズを捉えることのできる「企画・運営力」を持った民間事業者が連携し、施設整備後の利用者や地域に対する付加価値を創出するという目的に力点を置いた運営を重視する事業デザインの構築が求められる事業となっています。

■事業パートナーからの提案内容

コンセプトを「“じんぶん（知恵）”も“がんじゅう（健康）”も共に育み、共に育つ、南城市共育拠点」として提案。提案施設では、事業パートナーの知見を活かした図書館的機能における知的好奇心を育むユニークな選書やイベント等の仕掛け、世界的な教育メソッドによる多世代への学びの機会の提供、天候に左右されない遊び環境の整備と専門員の配置による親子間の交流促進や子育て支援が行われます。また、施設周辺の機能と連携した健康プログラムの提供など、企業グループの高い専門性を活かし、地域に根差した多世代交流、心身の健康増進に寄与する提案となっています。

■今後の予定

南城市と企業グループとの間で締結された本事業全体に係る基本協定を基に、今後は基本計画策定業務を行います。その過程において本事業の具体化に向けた市民への説明会、ワークショップ、イベント等の開催を予定しています。



完成イメージ屋内パース(イメージであり実際とは異なる場合があります。)

■ 事業概要

事業名称	南城佐敷・玉城IC周辺地区整備事業
建設地	沖縄県南城市佐敷字新里1870番地（隣接する市役所の地番）
施設整備方式	D B O（設計・建設・運営）方式
発注者、土地所有者	南城市
優先交渉権者 (企業グループ)	<p><代表企業></p> <p>大和リース株式会社（沖縄支店）</p> <p><構成企業></p> <p>丸善CHIホールディングス株式会社</p> <p>丸善雄松堂株式会社</p> <p>株式会社図書館流通センター</p> <p>株式会社公文教育研究会</p> <p>沖縄文化スポーツイノベーション株式会社</p> <p>株式会社仲本工業</p>



完成イメージ屋内パース（イメージであり実際とは異なる場合があります。）

【本件に関するお問い合わせ先】

南城市役所 企画部 公民連携室

Tel : 098-917-0364 E-Mail : ppp_office@city.nanjo.okinawa.jp